

タオパネ！シエラレオネ通信

「タオパネ！」とは、現地ティムニ語で「Join Hands!」という意味です。

第9号/最終号 (2011年5月)

作成者: 藤井 千江美

皆様へ

2008年5月に「JICA 地域保健改善プロジェクト」に従事する為に赴任しましたシエラレオネ国カンビア県での生活は、3年間の任期を終えて帰国しました2011年5月で終わりとなりました。

体調の方も、2009年7月に一度マラリアと腸チフスに罹りましたが、それ以外には特に体調を崩すことなく過ごすことができました。

赴任当時の2008年と比べると、カンビア県もかなり変わってきました。2010年から始まりました首都フリータウンとカンビア県を結ぶ主要幹線道路の舗装工事もほぼ終了となり、雨季には6時間もかかっていた移動が、3時間で可能となりました。しかし、一方では、交通量が増え、スピードを出して走る車による交通事故、人々の往来が増え治安の悪化など、昔ながらの素朴な雰囲気も少しずつ無くなっていっているような感じがして寂しく思ったりもしました。発達と共に変わりつつあるカンビア県の人々の暮らしと自然ですが、赴任当時を懐かしく思い出しながら、その当時からのご紹介をさせていただきますね。

カンビア県の人々と暮らし



自宅から徒歩1分の青空市場の様子



古タイヤで遊ぶ子どもたち



道路の発達と共に無くなりつつある
手動ガソリンスタンド



現在は見られなくなった首都とカンビア県
を結ぶ雨季の主要幹線道路の様子



地域住民による青空教室



魚捕り具の製作中

カンビア県の自然



聖なる木コットンツリー
(私が見えますか？因みに私の身長は 1630m です)



カシューナッツって、こんなふうの実が
なるってご存知でしたか？



5月は右を見ても左を見ても
マンゴだらけのカンビア県！



初めて見た UFO 型のアリ塚



散歩途中に出会った私の大好きな風景



カンビア県を流れる大河を乗合船で移動中

最後に……



カンビア県の僻地イリボヤ島の子どもたち

皆様、3年間、「タオパネ！シエラレオネ通信」をご愛読頂きまして、本当にありがとうございました。

そして、3年間の滞在期間中にご支援を頂きました多くの方々に、お礼を申し上げます。

これからも子どもたちの笑顔がいつまでも続くように、アフリカと関わっていきたいと思います。引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。